

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

基本 施策					施策	取組	リー ディ ング	事業名	事業 区分	連携 協働	所管課	概要	点検 対象	点検指標	目標 区分	R3実績値	R4実績値	R4実績 区分	R4実績所感	R5事業 区分	R5目標 区分	R5詳細
						障害の有無に関わらず学習できる環境の整備	3	障害のある人が学び続けられる環境の整備	新規	●	社会教育課・生涯学習部が所管する施設	障害のある方々の学校卒業後の生涯を通じた多様な学習活動を支援するため、生涯学習における合理的配慮を行います。 ※「合理的配慮」とは「来館されるすべての方に向けた基礎的環境整備」と「個々のニーズに対応する合理的配慮」の両方の概念をあわせて取り扱い、「障害を理由に参加を断らない」「廊下や通路に歩行の障害になるようなものを置いていない」「障害者用または多目的トイレがある」「障害者用駐車場がある」「障害者等から施設利用に関する相談があった場合、前向きに利用を保障しようとしている」等とする。	●	合理的配慮を行っている施設数	→	68	68	→	全ての施設で合理的配慮を実施しています。	継続	→	継続します。
Ⅱ	1	地域・社会で活躍する人材・団体の育成と支援	1	地域・社会で活躍する人材の育成と支援	地域・社会で活躍する人材の育成と支援		2	ふなばし市民大学校＜まちづくり学部＞における地域人材の育成	変更	●	社会教育課	まちや地域に関心を持ち、自分に合ったボランティア活動につながる知識や技術の習得を目指すためのカリキュラムを提供し、地域で活躍する人材を育成します。	●	受講者数	↗	99	102	↗	地域活動団体等とのマッチングや体験実習を行うなど、より実践的なカリキュラム編成を行い、昨年度と同等の入学者数となりました。	継続	→	事業を継続して行い、地域で活躍する人材を育成します。
								ふなばし市民大学校＜市民スマホコンシェルジュ養成講座＞における地域人材の育成とその活動支援	新規		社会教育課・公民館	スマートフォンに関する知識や教え方について学ぶ養成講座を行い、「市民スマホコンシェルジュ」として地域で活躍する人材を育成しその活動について支援します。	●	市民スマホコンシェルジュ養成講座修了者の活動件数	↗	(R4新規事業)	21	↗	市民スマホコンシェルジュの活動の場が提供できました。	拡大	↗	相談会の実施など、市民スマホコンシェルジュ単独の活躍の場の拡大を目指します。
								体操指導士の養成	継続		健康づくり課	市民自らが体操の指導士となり、相互に支え合って地域の健康づくりと介護予防に取り組むことを目的として、ふなばしシルバーリハビリ体操の体操指導士を養成します。										
								生活・介護支援サポーター養成事業	継続		高齢者福祉課	介護施設や介護が必要な高齢者の自宅に派遣するため、社会参加の意欲の高い、自立した元気高齢者などをサポーターとして養成します。										
								農業支援者育成講座	継続		農水産課	1年間の研修をとおして農作業に必要な基礎的知識や技術を習得する講座を受講後、「船橋市援農クラブ」の会員となり、農業ボランティアとして活躍する人材を育成します。										
								地域防災リーダー養成事業	継続		危機管理課	地域での防災活動を担う人材を育成するため、地域防災リーダー養成講座を開催します。また、町会・自治会等の防災意識を高め、自主防災組織の結成、活動促進につなげます。										
								災害時外国人支援サポーター養成事業	変更	●	国際交流課	大地震や大規模災害が発生した際に要配慮者となり得る外国人住民のために、外国人支援サポーターとして活動するボランティアを養成するため、国際交流協会やその他関係団体と協力して研修を開催します。										
								船橋市生涯学習コーディネーターの支援	変更	●	公民館・社会教育課	協働による公民館事業の開催等により、ふなばし市民大学校のまちづくり学部生涯学習コーディネーター養成学科を修了した生涯学習コーディネーターのスキルアップを図るとともに、その過程で得た知見等を市民大学校に還元し、カリキュラムの改善等に協力していきます。	●	船橋市生涯学習コーディネーターと協働し実施する事業数	↗	50	44	↘	事業数は減少となってしまいましたが、職員のみでは企画できない、事業の企画等の支援を受けることが出来ています。	継続	↗	船橋市生涯学習コーディネーターと協働する事業を継続して検討します。

基本 施策					策	取組	リー ディ ング	事業名	事業 区分	連携 協働	所管課	概要	点検 対象	点検指標	目標 区分	R3実績値	R4実績値	R4実績 区分	R4実績所感	R5事業 区分	R5目標 区分	R5詳細	
					防犯体制整備の支援	-	防犯パトロール支援事業	継続	●	市民安全推進課	防犯パトロール隊の立ち上げや活動を支援するため、月1回以上防犯パトロールを実施している（予定も含む）団体に対し、防犯パトロール物資の支給を行っています。また、自主防犯パトロールの補完として、町会・自治会等を対象に、防犯カメラを設置する際に補助金を交付します。												
					2	家庭と地域の教育 力向上のための取組の推進	家庭教育の支援	-	健康教育事業（母子）	継続		地域保健課	乳幼児の健康や保護者の育児不安を解決するとともに、正しい知識の普及を図るため、各保健センターや地区で健康講座を開催します。										
								子育て支援センター事業	継続		地域子育て支援課	講座や講演会、年齢別・テーマ別の集いなどの継続的な子育て支援の取り組みを実施します。また、専門知識を持ち様々な子育ての悩みに対応できる子育て支援コーディネーターを配置し、子育て相談やアドバイスをを行います。											
								就学時健診等における子育て学習	継続	●	公民館	子育てやしつけなどの家庭教育のあり方を見つめ直し、家庭の教育力を高めることを目的として、子育て講座を実施します。											
								家庭教育セミナー	継続	●	公民館	家庭の教育力の向上を目的として、PTA等と連携し、子供との関り方などに関するセミナーを全公民館で開催します。											
							地域の子供を地域で守り育てる体制の整備・充実	5	公民館における学社連携事業	継続	●	公民館	総合教育センター主催の「学社連携研修」等により、公民館職員と教員の関係づくりを行い、小・中学校の児童・生徒が地域社会の大切さを学べるよう、公民館サークルとの交流体験や、授業支援事業等、学校との連携を推進します。	●	学社連携事業の実施回数	↗	19	15	↘	改修工事や、学校との調整により事業数は減少しました。	継続	→	今後も継続して学社連携を推進します。
								学校支援地域本部事業	拡大	●	社会教育課	中学校区ごとに、地域の人々がボランティアとして小・中学校の環境整備や学校行事等様々な支援を行い、地域全体で学校を支援していく体制づくりを推進します。	●	船橋市学校支援地域本部事業参加者数	↗	41,323	56,711	↗	新型コロナウイルス感染症の新規感染者減少に伴い、徐々に活動が再開しているものと思われます。	拡大	↗	実施中学校区を増加を目指し、参加者数の増加を目指します。	
								地域と学校の連携・協働に関する研究	継続	●	社会教育課・教育総務課・指導課	地域と学校が相互に連携・協働する地域学校協働活動や、地域住民や保護者等が学校運営に参画する仕組みである学校運営協議会制度（コミュニティ・スクール）の導入に向けて、研究を進めます。											
					スクールガード・リーダー制度	継続	●	保健体育課 児童・生徒防犯安全対策室	通学路等の巡回指導を行い、スクールガード連絡調整会議を通じて、学校、保護者、スクールガード等と共通認識を図ります。														
					学校教育活動支援ボランティア	継続	●	指導課	社会に開かれた教育課程の実現に向けて、各教科等の学習等において、地域の方々や保護者にゲストティーチャーや指導補助等を依頼し、学習活動の充実を図ります。														
学習サポーター派遣事業	継続	●	指導課	子供たち一人一人の個に応じた学習支援や教育活動全般に関する指導援助を行うため、協力大学と連携し、教員志望の意欲ある学生等を学習サポーターとして市内全小学校に配置します。																			
小・中学校部活動外部指導者派遣事業	継続	●	保健体育課	部活動顧問と外部指導者により部活動の指導をするとともに、顧問の指導力の向上を目指します。																			

[illegible]